

文化表現学科・地域保育学科
図書館司書課程

2025 年 4 月 1 日 更新

科 目 名	生涯学習概論		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優	
ナンバリングコード	LIS3221		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	図書館、博物館、文書館等の MLA 機関は、生涯学習を支援する社会教育機関である。本授業は、学習の支援者としての司書の役割を理解し、生涯学習の歴史、意義、理念、技法について講義を行う。また、講義の内容を踏まえて、生涯学習を支援する公的機関へ訪問し、実際の生涯学習支援について実地で学ぶ。								
到 達 目 標	1. 生涯学習の意義、理念を理解している 2. 各発達段階における生涯学習の形式、内容を理解し、学習計画を立てることができる 3. 生涯学習において図書館、博物館、文書館が担う役割を理解し、説明できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、5 ）文化表現学科（ 1、2、3、4 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	授業の内容と進め方について理解する				
	第2回	内容	生涯学習の定義と意義	予習	生涯学習と成人教育の違いを調べる				
				復習	生涯学習の意義を理解する				
	第3回	内容	生涯学習の理念と歴史	予習	リカレント教育について調べる				
				復習	生涯学習の理念の展開を理解する				
	第4回	内容	生涯教育に関連する法律	予習	生涯学習振興法を予読する				
				復習	社会教育と生涯学習の関連を理解する				
	第5回	内容	生涯の発達段階ごとの学習内容	予習	成人期における生涯学習の内容を調べる				
				復習	発達段階ごとの生涯学習の違いを理解する				
	第6回	内容	生涯学習を支援する機関、人々、生涯学習計画	予習	公民館の役割を調べる				
				復習	司書による生涯学習支援の意義をまとめる				
	第7回	内容	生涯学習における教育プログラム	予習	生涯教育と生涯学習の違いを調べる				
				復習	社会教育活動について理解する				
	第8回	内容	生涯学習の評価と成果の活用	予習	生涯学習における成果発表の機会を調べる				
				復習	生涯学習の評価法について理解する				
	第9回	内容	生涯学習と情報	予習	オンラインで行う生涯学習の事例を調べる				
				復習	情報リテラシの重要性を理解する				
	第10回	内容	生涯学習支援機関における支援①（グループワーク・実地学習）	予習	訪問先の支援事業について調べる				
				復習	実地学習の内容をまとめる				
	第11回	内容	生涯学習プログラムの作成①（グループワーク）	予習	自身の生涯学習の記録をまとめておく				
				復習	役割ごとの提出物作成を進める				
	第12回	内容	生涯学習プログラムの作成②（グループワーク）	予習	役割ごとの提出物作成を進める				
				復習	提出物を完成させる				
	第13回	内容	グループワークの成果発表（発表）	予習	発表の練習をしておく				
				復習	発表後のフィードバックをまとめる				
	第14回	内容	生涯学習支援機関の見学（実地学習）	予習	訪問先の支援事業について調べる				
				復習	実地学習の内容をまとめる				
	第15回	内容	これからの生涯学習支援の展望	予習	生涯学習についてのニュースを読む				
				復習	自身の生涯学習について計画を立ててみる				
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	グループワークの成果について相互評価の結果を返却します。また、レポートについて、希望者にはコメントを返却します。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、実技（ ）、授業態度【グループワークの貢献】（40%）							
教科書	指定しません。授業資料を配布します。								
参考文献	『司書・学芸員をめざす人への生涯学習概論』（大堀哲・編、樹村房） 『講座・図書館情報学 1 生涯学習概論—知識基盤社会で学ぶ・学びを支える』（渡邊洋子、ミネルヴァ書房）								
補足事項	グループワークを行わない回は、授業内で小テストを行います（評価は「レポート・課題」に含めます）。小テストの内容を復習してください。 評価基準（ルーブリック）： https://drive.google.com/file/d/1U22jQmm1kZDkkNB_MUqQFJcQQ-6off6w/view?usp=sharing								

科 目 名	図書館概論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	LIS3211			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	司書資格取得の必修科目かつ入門科目として、図書館の基礎知識を学びます。まず、図書館に関する科目で共通する基礎知識・基礎概念を学びます。その後、図書館の館種別に、歴史、法制度、社会での役割、サービスの内容と意義、図書館職員の資格と業務内容、他機関との連携、課題と今後の展望について幅広く解説します。授業では講義および講義内容をより深く理解するためのグループディスカッションを行います。								
到 達 目 標	1．図書館の歴史と現状、法制度について理解している 2．公共図書館を中心とする図書館サービスの内容とその意義について説明できる 3．社会における図書館の位置づけと他機関連携について説明できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、5 ）文化表現学科（ 2、3、4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション、図書館の種類と定義	予習	シラバスの内容をよく読んでおく				
				復習	本授業の内容と進め方を理解する				
	第 2 回	内容	図書館の構成要素と機能	予習	図書館の構成要素について調べる				
				復習	図書館の館種別機能を理解する				
	第 3 回	内容	図書館サービスの社会的意義	予習	近隣の公共図書館のウェブサイトに通目を通す				
				復習	公共図書館の社会的意義を理解する				
	第 4 回	内容	図書館の歴史	予習	アレクサンドリア図書館について調べる				
				復習	日本の公共図書館の歴史について理解する				
	第 5 回	内容	図書館法および関連法規	予習	図書館法を予読する				
				復習	図書館法の内容を理解する				
	第 6 回	内容	知的自由と図書館	予習	図書館の自由に関する宣言を予読する				
				復習	図書館の知的自由とは何かを理解する				
	第 7 回	内容	前半のまとめ・グループワーク	予習	図書館の知的自由に関する事例を調べる				
				復習	図書館の知的自由についてレポートを書く				
	第 8 回	内容	国立図書館の制度と機能	予習	納本図書館について調べる				
				復習	授業で扱った図書館のウェブサイトに通目を通す				
	第 9 回	内容	公共図書館の制度と機能	予習	公立図書館と公共図書館の違いについて調べる				
				復習	公共図書館の機能について理解する				
	第 10 回	内容	学校図書館の制度と機能	予習	学校図書館のサービス対象を調べる				
				復習	出身校の図書館ウェブサイトに通目を通す				
	第 11 回	内容	大学図書館の制度と機能・専門図書館の制度と機能	予習	附属図書館のウェブサイトを確認し機能を知る				
				復習	専門図書館のサービス内容を確認する				
	第 12 回	内容	図書館職員の種類・資格・業務内容	予習	司書資格に必要な要件について調べる				
				復習	司書の資格、業務について理解する				
	第 13 回	内容	図書館と他機関との連携	予習	MLA 連携とは何か調べる				
				復習	埼玉県の図書館における連携・協力を理解する				
	第 14 回	内容	近年の公共図書館をめぐる議論と展望	予習	図書館に関するニュースを読む				
				復習	現代図書館界の課題と展望を理解する				
	第 15 回	内容	後半のまとめ・グループワーク	予習	授業内で紹介したニュースに通目を通す				
				復習	図書館の課題についてレポートを作成する				
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	グループワーク中に口頭でコメントします。希望者にはレポートにコメントを返却します							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（70％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【グループワーク】（30％）								
教科書	『図書館情報学基礎資料 第5版』（今 まどり、小山 憲司・編著、樹村房） 加えて、授業資料を配布します								
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ1 図書館概論 改訂版』（高山正也、岸田和明・編著、樹村房） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 1 図書館概論 五訂版』（塩見昇・編著、日本図書館協会）								
補足事項	グループワークを行わない回は、授業内で小テストを行います（評価は「レポート・課題」に含めます）。小テストの内容を復習してください。 評価基準（ルーブリック）： https://drive.google.com/file/d/1U22jQmm1kZDkkNB_MUpQFJcQQ-6off6w/view?usp=sharing								

科 目 名	図書館制度・経営論		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	たまき けいこ 玉木 圭子	
ナンバリングコード	LIS3223		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	図書館及び関連領域に関する法律、制度、政策、図書館経営の実態について解説を行います。また、図書館と他の公的機関の連携、図書館の施設と設備、図書館サービスの計画と予算、今後の図書館経営の在り方についてグループワーク・討議を行い、各自の考察を深めます。								
到 達 目 標	1. 図書館関連法規、図書館経営に関する制度について理解している 2. 図書館経営に必要な組織運用、計画の作成と評価、図書館経営の今後の発展について理解している 3. 図書館経営の意義、ならびに職員の職務、他機関との連携について説明できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、5 ）文化表現学科（ 2、3、4 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、図書館経営の理念	予習	シラバスの内容をよく読んでおく				
				復習	本授業の内容と進め方を理解する				
	第2回	内容	図書館制度と図書館法	予習	図書館法を予読する				
				復習	図書館法の内容について理解する				
	第3回	内容	図書館法以外の図書館関連法規と条例、基準	予習	図書館の設置及び運営上の望ましい基準を予読する				
				復習	図書館法以外の関連法規の内容を理解する				
	第4回	内容	図書館のサービスに関する法律	予習	著作権法を予読する				
				復習	図書館における個人情報保護について理解する				
	第5回	内容	図書館関連政策（国・地方）	予習	埼玉県の図書館政策に目を通す				
				復習	図書館関連政策について理解する				
	第6回	内容	図書館の公共性と図書館経営	予習	公共性とは何か調べる				
				復習	図書館の経営の特徴を理解する				
	第7回	内容	図書館の組織運営、図書館における危機管理	予習	文科省の司書についてのサイトを読んでおく				
				復習	図書館司書の専門性について理解する				
	第8回	内容	図書館職員の専門性とボランティア（グループワーク）	予習	図書館司書の業務を調べる				
				復習	図書館司書の役割についてレポートを書く				
	第9回	内容	図書館の財政と予算	予習	日本の図書館統計に目を通す				
				復習	図書館全体の予算申請の仕組みを理解する				
	第10回	内容	図書館の地域計画・サービス計画	予習	埼玉県立図書館のサービス計画（運営の基本方針と重点目標・重点取組）に目を通す				
				復習	図書館のサービス計画について理解する				
	第11回	内容	図書館の管理形態の多様化①	予習	指定管理者制度について調べる				
				復習	図書館の様々な運営形態を理解する				
	第12回	内容	図書館の管理形態の多様化②（グループワーク）	予習	図書館以外の公共施設の運営形態を調べる				
				復習	公共サービスとしての図書館についてレポートを書く				
	第13回	内容	図書館のマーケティングと広報	予習	マーケティングとは何かを調べる				
				復習	図書館における広報について理解する				
	第14回	内容	図書館の経営評価	予習	埼玉県立図書館の図書館要覧を予読する				
				復習	図書館の経営評価の仕組みを理解する				
	第15回	内容	図書館経営の課題と展望	予習	新聞・インターネットで図書館に関するニュースを読んでおく				
				復習	図書館の新たな役割について理解する				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（70％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【グループワーク】（30％）							
教科書	指定しません。授業資料を配布します								
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ2 図書館制度・経営論』（糸賀雅児・葉袋秀樹編著、樹村房、2013） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 2 図書館制度・経営論』（永田治樹編著、日本図書館協会、2016）								
補足事項	・ グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行うことがあります。小テストの内容を復習してください。 ・ 地域保育学科の実習期間（第9回、第10回）の授業はオンデマンド方式で行う予定です。								

科 目 名	図書館情報技術論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵	
ナンバリングコード	LIS3224			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	図書館業務に必要な基礎的な情報技術に関する知識を習得することを目的とする。 図書館業務システム、コンピュータの基礎、データベース、検索エンジン、電子資料など、図書館業務とサービスにおける情報技術やインターネットの活用について解説する。									
到 達 目 標	1. 図書館で活用する情報技術について理解している 2. 印刷資料からデジタルコンテンツの管理にかかわるシステムについて理解している									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 文3に相当 ）文化表現学科（ 3 ）									
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス 図書館情報技術の全体像	予習	シラバスを読んでおく					
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する					
	第2回	内容	コンピュータとネットワークの基礎	予習	コンピュータの仕組みを調べる					
				復習	コンピュータとネットワークを理解する					
	第3回	内容	情報技術と社会	予習	情報技術の社会の関りを調べる					
				復習	情報技術と社会の関りをまとめる					
	第4回	内容	図書館における情報技術の現状	予習	図書館で使われている情報技術を調べる					
				復習	図書館業務に必要な報技術を理解する					
	第5回	内容	データベースの仕組み	予習	人とデータベースの関りを調べる					
				復習	図書館のデータベースの仕組みを理解する					
	第6回	内容	メタデータの基本概念	予習	書誌情報の構成を整理しておく					
				復習	図書館とメタデータの関りを理解する					
	第7回	内容	情報システムの管理	予習	自分のセキュリティ管理について考える					
				復習	セキュリティの課題についてまとめる					
	第8回	内容	図書館業務システムの仕組み	予習	図書館業務を整理しておく					
				復習	図書館の管理システムの課題を整理する					
	第9回	内容	電子資料	予習	身近にある電子書籍を調べる					
				復習	電子資料と紙の資料の特性を整理する					
	第10回	内容	デジタルアーカイブ	予習	電子資料とは何か整理しておく					
				復習	デジタルアーカイブの必要性をまとめる					
	第11回	内容	検索システムのしくみ	予習	自分が行う情報検索方法を考える					
				復習	各種検索システムを整理する					
	第12回	内容	図書館と著作権	予習	身の回りの著作権について考える					
				復習	図書館と著作権の関係を整理する					
	第13回	内容	これからの図書館	予習	学外の図書館を技術の視点で見学しておく					
				復習	情報技術と機能について整理する					
	第14回	内容	講義復習 演習課題	予習	図書館の情報技術の在り方を整理しておく					
				復習	図書館で必要な情報技術の問題をまとめる					
	第15回	内容	図書館委託業務、まとめ	予習	図書館委託業務について考える					
				復習	図書館の情報技術について振り返りまとめる					
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	各回の課題に対して解説を行う。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（ 100 ）％、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【 】（ ）％								
教科書	使用しない 講義資料は毎回配布する									
参考文献	講義時に指示する									
補足事項	理解確認のための課題を提示する。									

科 目 名	図書館サービス概論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	LIS3212			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	主に公共図書館における図書館サービスについて、概念と基礎知識を学びます。まず、図書館サービスの定義、種類、意義について学び、個々のサービスごとにより詳細な内容と意義について講義を行います。その後、図書館サービスの中でも議論のある分野について、グループワークを通して理解を深めます。グループワーク後には小レポートを課します。								
到 達 目 標	1． 図書館サービスの内容と意義について説明できる 2． 図書館サービスを実践する上での基礎知識を獲得している 3． 近年の図書館サービスの現況と課題について説明できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、5 ）文化表現学科（ 2、3、4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション・図書館サービスとは何か	予習	シラバスをよく読んでおく				
				復習	本授業の内容と進め方を理解する				
	第 2 回	内容	図書館の機能とサービス	予習	近隣の公共図書館のウェブサイトを開覧する				
				復習	図書館サービスの内容について理解する				
	第 3 回	内容	図書館サービスの歴史	予習	中小レポート（授業内で紹介）を予読する				
				復習	図書館サービスの変遷について理解する				
	第 4 回	内容	図書館サービスを支える理念	予習	図書館員の倫理要綱を予読する				
				復習	図書館サービスに関するガイドラインを読む				
	第 5 回	内容	資料提供サービス	予習	公共図書館の貸出サービスについて調べる				
				復習	資料提供サービスの仕組みを理解する				
	第 6 回	内容	情報提供サービス	予習	レファレンスサービスについて調べる				
				復習	情報提供サービスの種類について理解する				
	第 7 回	内容	課題解決型サービス・多文化サービス	予習	課題解決型サービスとは何か調べる				
				復習	図書館の課題解決型サービスについてまとめる				
	第 8 回	内容	地域に合わせた図書館サービス（グループワーク）	予習	コミュニティサービスとは何か調べる				
				復習	地域に合ったサービスについてレポートを書く				
	第 9 回	内容	障害者サービス、アウトリーチとエクステンション	予習	デイジー資料とは何か調べる				
				復習	公共図書館におけるアウトリーチ事例を調べる				
	第 10 回	内容	高齢者サービス、児童サービス	予習	回想法について調べる				
				復習	年代に合わせたサービスについて理解する				
	第 11 回	内容	図書館サービスと著作権	予習	著作権法を予読する				
				復習	図書館における著作権ガイドラインを読む				
	第 12 回	内容	利用者に合わせた図書館サービス（グループワーク）	予習	図書館の利用者接遇について調べる				
				復習	図書館での利用者接遇についてレポートを書く				
	第 13 回	内容	図書館サービスの連携と協力、利用者への対応と広報	予習	ウェブサイトでの図書館広報について調べる				
				復習	図書館サービス連携の事例を読む				
	第 14 回	内容	図書館サービスと危機管理	予習	図書館における被災のニュースを調べる				
				復習	図書館の資料修復方法を調べて読む				
	第 15 回	内容	図書館サービスの課題と展望	予習	図書館サービスに関するニュースを読む・見る				
				復習	図書館サービスの展望について理解する				
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	グループワーク中に口頭でコメントします。希望者にはレポートに対してコメントを返却します								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（70％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【グループワーク】（30％）								
教科書	指定しません。授業資料を配布します。								
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ4 図書館サービス概論』（宮部頼子・編、樹村房） 『事例で学ぶ図書館1 事例で学ぶ図書館サービス概論』（吉井 潤・著、青弓社）								
補足事項	グループワークを行わない回は、授業内で小テストを行います（評価は「レポート・課題」に含めます）。小テストの内容を復習してください。 評価基準（ルーブリック）： https://drive.google.com/file/d/1U22jQmm1kZDkkNB_MUpQFJcQQ-6off6w/view?usp=sharing								

科 目 名	情報サービス論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優	
ナンバリングコード	LIS3225			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	図書館司書の業務のなかでも特に重要な情報サービスについて、基礎知識・技能を学びます。まず、情報サービスの種類、レファレンスサービスの技法、情報サービスを行う上で利用する情報源の種類と整理、デジタル環境下における情報サービスについて講義を行います。その後、グループワークを通して情報サービスの技法について理解を深めます。									
到 達 目 標	1. 図書館における情報サービスについて基礎知識を理解している 2. レファレンスサービス全体の流れを実施することができる 3. 情報検索サービスに使用する情報源と技法を理解し基礎的な実践ができる									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、5 ）文化表現学科（ 2、3、4 ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション、情報サービスとは何か	予習	シラバスの内容をよく読んでおく					
				復習	本授業の内容と進め方を理解する					
	第 2 回	内容	情報サービスの定義と意義	予習	情報サービスの定義について調べる					
				復習	情報サービスの意義を理解する					
	第 3 回	内容	情報ニーズと情報探索・情報検索	予習	情報探索と情報検索の違いについて調べる					
				復習	情報ニーズに合わせた情報探索行動を理解する					
	第 4 回	内容	レファレンスワークの意義	予習	レファレンスプロセスについて調べる					
				復習	レファレンスワークの全体像を理解する					
	第 5 回	内容	レファレンスインタビュー	予習	レファレンスインタビューとは何か調べる					
				復習	レファレンスに必要な技能を理解する					
	第 6 回	内容	レファレンスインタビューの実践（グループワーク）	予習	レファレンス質問を考えてくる					
				復習	レファレンスワークについてレポートを書く					
	第 7 回	内容	図書館の各種情報サービス	予習	レファレンス以外の情報サービスを調べる					
				復習	公共図書館の情報サービスの実施状況を知る					
	第 8 回	内容	情報サービスに利用する情報源：種類と整備	予習	事実情報の検索方法について調べる					
				復習	授業内であつかった資料を図書館で確認する					
	第 9 回	内容	情報サービスに利用する情報源：調べ方	予習	書誌データの検索方法について調べる					
				復習	授業内であつかった資料を図書館で確認する					
	第 10 回	内容	情報源の利用（グループワーク）	予習	第 8 回、第 9 回の授業内容を復習する					
				復習	情報源の利用についてレポートを書く					
	第 11 回	内容	デジタル環境下の情報サービス	予習	レファレンス協同データベースを閲覧する					
				復習	デジタル情報サービスの特性について理解する					
	第 12 回	内容	情報検索の技法と評価	予習	自由語・統制語について調べる					
				復習	授業で紹介した検索の技法を使ってみる					
	第 13 回	内容	情報検索の実践（グループワーク）	予習	興味がある事柄について検索式を立てる					
				復習	情報検索についてレポートを作成する					
	第 14 回	内容	情報サービスの管理	予習	レファレンスサービスガイドラインを予読する					
				復習	情報サービスの組織化について理解する					
	第 15 回	内容	情報サービスの課題と展望	予習	情報サービスの課題について調べる					
				復習	情報サービスの課題と展望を理解する					
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 150 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	グループワーク中に口頭でコメントします。また、希望者にはレポートへのコメントを返却します。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【グループワークでの貢献】（30%）								
教科書	指定しません。授業資料を配布します。									
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ5 情報サービス論 改訂版』（山崎久道、原田智子・編著、樹村房） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 5 情報サービス論』（小田光宏・編著、日本図書館協会）									
補足事項	グループワークを行わない回は、授業内で小テストを行います（評価は「レポート・課題」に含めます）。小テストの内容を復習してください。 評価基準（ルーブリック）： https://drive.google.com/file/d/1U22jQmm1kZDkkNB_MUpQFJcQQ-6off6w/view?usp=sharing									

科 目 名	児童サービス論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優	
ナンバリングコード	LIS3222			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	乳児からヤングアダルトまでを対象とした、子ども向け資料の管理と提供、子どもの読書を推進する取り組み、他機関との連携等について、基本知識と技術の習得を目指します。また、いくつかの単元についてはグループワークを行い、多様な視点を獲得することを目指します。児童サービスの内、読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリング、ビブリオバトルについては演習形式で理解を深めます。									
到 達 目 標	1．図書館における児童サービスの意義と取り組みについて理解している 2．児童向け資料の基礎知識を理解し、収集と提供について説明できる 3．子どもの読書を推進する取り組みを理解し、実践できる									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 1、2、3、5 ）文化表現学科（ 1、2、3、4 ）									
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション				予習	シラバスの内容をよく読んでおく		
			児童にとっての読書の意味				復習	本授業の内容を理解する		
	第2回	内容	児童サービスの意義と歴史、児童サービスの管理と運営				予習	児童サービスの意義とは何か調べる		
							復習	児童サービスの意義と歴史について理解する		
	第3回	内容	児童向け資料の種類と提供				予習	年齢別の子ども向け資料の種類を調べる		
							復習	子どもへの資料提供方法を理解する		
	第4回	内容	乳幼児サービス、YA サービス				予習	ブックスタートについて調べる		
							復習	年齢ごとのサービスの違いについて理解する		
	第5回	内容	学校図書館へのサービス、特別なニーズをもつ子どもへのサービス				予習	ディスレクシアについて調べる		
							復習	学校図書館と公共図書館の連携について調べる		
	第6回	内容	読み聞かせの意義と準備				予習	読み聞かせの意義について調べる		
							復習	読み聞かせの準備について理解する		
	第7回	内容	読み聞かせ演習（発表）				予習	読み聞かせの資料を選び、練習をしておく		
							復習	自己評価をレポートにまとめる		
	第8回	内容	読み聞かせ演習（発表）②				予習	読み聞かせの資料を選び、練習をしておく		
							復習	自己評価をレポートにまとめる		
	第9回	内容	読み聞かせ演習（発表）③				予習	読み聞かせの資料を選び、練習をしておく		
							復習	自己評価をレポートにまとめる		
	第10回	内容	ブックトークの意義と準備				予習	ブックトークの意義について調べる		
							復習	ブックトークのシナリオを作成する		
	第11回	内容	ブックトーク演習（発表）				予習	ブックトークの演出を考え、練習しておく		
							復習	自己評価をレポートにまとめる		
	第12回	内容	ブックトーク演習（発表）②				予習	ブックトークの演出を考え、練習しておく		
							復習	自己評価をレポートにまとめる		
	第13回	内容	ストーリーテリングの意義と準備、ビブリオバトルの意義と準備				予習	ストーリーテリングの意義について調べる		
							復習	ストーリーテリングの準備について理解する		
	第14回	内容	ストーリーテリング演習、ビブリオバトル演習（発表）				予習	ストーリーテリングの作品を選定し、練習する		
							復習	自己評価をレポートにまとめる		
	第15回	内容	児童サービスの課題と展望（グループワーク・討議）				予習	児童サービスの課題について調べる		
							復習	児童サービスの展望について理解する		
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	課題及び発表に対してコメントを返却します								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（40%）、作品・発表（40%）、実技（ ）、授業態度【グループワーク】（20%）								
教科書	指定しません。授業資料を配布します									
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ6 児童サービス論』（植松貞夫・鈴木佳苗・編、樹村房） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 6 児童サービス論 新訂版』（堀川照代、日本図書館協会）									
補足事項	演習を行わない回は、授業内で小テストを行います（評価は「レポート・課題」に含めます）。小テストの内容を復習してください。 評価基準（ルーブリック）： https://drive.google.com/file/d/1U22jQmm1kZDkkNB_MUpQFJcQQ-6off6w/view?usp=sharing									

科 目 名	情報サービス演習		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵
ナンバリングコード	LIS3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	図書館が扱う情報資源の特性を把握し、利用者に適切な回答を提供するための基礎知識と技術を習得することを目的とする。 情報入手のための情報源や情報サービスの設計、ファレンスコレクションの構築、発信型情報サービスなど、利用者の要求に対する回答処理の実践的な技術を学ぶ							
到 達 目 標	1．レファレンス担当としての自覚を持ち、信頼性の高い情報サービスの提案ができる 2．各種レファレンスツール（参考資料、インターネット情報源等）の特性を理解して、利活用できる 3．最終的に、自分の力でレファレンス回答にたどり着ける力を身につけている							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 文2, 3, 4に相当 ）文化表現学科（ 2, 3, 4 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス レファレンス能力の確認	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	情報サービスの意義と設計	予習	教科書を読んでおく			
				復習	情報サービスの意義を整理する			
	第3回	内容	情報サービスの評価 ①情報資源とレファレンスコレクション	予習	教科書を読んでおく			
				復習	図書館資料を理解する			
	第4回	内容	情報サービスの評価 ②情報資源とレファレンスコレクションの実際（図書館内での演習）	予習	本校の情報資源を調べる			
				復習	レファレンスコレクションの特性を理解する			
	第5回	内容	情報サービスの評価 ③情報資源とレファレンスコレクションの実際（図書館内での演習）	予習	本校の情報資源を調べる			
				復習	レファレンスコレクションの特性を理解する			
	第6回	内容	情報探査行動	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	利用者の探索行動を理解する			
	第7回	内容	情報資源の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	情報資源の検索の方法を理解する			
	第8回	内容	情報資源、Web ページ、Web サイトの検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	デジタル情報資源の検索方法を理解する			
	第9回	内容	図書情報の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	図書情報の検索方法を理解する			
	第10回	内容	雑誌・雑誌記事の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	雑誌・雑誌記事の検索方法を理解する			
	第11回	内容	新聞記事の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	新聞記事の検索方法を理解する			
	第12回	内容	言葉・事柄・統計の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	言葉・事柄・統計の検索方法を理解する			
	第13回	内容	歴史・日時の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	歴史・日時の検索方法を理解する			
	第14回	内容	地理・地名・地図の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	地理・地名・地図の検索方法を理解する			
	第15回	内容	人物・企業・団体の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	人物・企業・団体の検索方法を理解する			
	第16回	内容	法律・判例・特許の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	法律・判例・特許の検索方法を理解する			
	第17回	内容	印刷資料の実際①（図書館内での演習）	予習	第7-16回の目的別検索方法を理解しておく			
				復習	印刷資料での検索を理解する			
	第18回	内容	印刷資料の実際②（図書館内での演習）	予習	第7-16回の目的別検索方法を理解しておく			
				復習	印刷資料での検索を理解する			
	第19回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説①（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第3-18回の目的別検索方法を理解しておく			
				復習	各種問題の検索方法を理解する			
	第20回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説②（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第3-18回の目的別検索方法を理解しておく			
				復習	各種問題の検索方法を理解する			
		内容			予習	第3-18回の目的別検索方法を理解しておく		

	第 21 回		応用：個別練習問題の実施と解説③（図書館内と PC ルームでの演習）	復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 22 回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説④（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-18 回の目的別検索方法を理解しておく
				復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 23 回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説⑤（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-18 回の目的別検索方法を理解しておく
				復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 24 回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説⑥（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-18 回の目的別検索方法を理解しておく
				復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 25 回	内容	発信型情報サービス①インフォメーションファイル（資料収集）	予習	情報サービスについて考える
				復習	インフォメーションファイルの特性を理解する
	第 26 回	内容	発信型情報サービス②インフォメーションファイル（作成）	予習	情報サービスについて考える
				復習	インフォメーションファイルの特性を理解する
	第 27 回	内容	発信型情報サービス③インフォメーションファイル（作成）	予習	情報サービスについて考える
				復習	インフォメーションファイルの特性を理解する
	第 28 回	内容	発信型情報サービス④パスファインダー（資料収集）	予習	情報サービスについて考える
復習				パスファインダーの特性を理解する	
第 29 回	内容	発信型情報サービス⑤パスファインダー（作成）	予習	情報サービスについて考える	
			復習	パスファインダーの特性を理解する	
第 30 回	内容	情報サービスの評価 まとめ	予習	情報資源とサービス技術を振り返る	
			復習	サービスの評価と改善点を提案できる	
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	演習時に個々の課題を解説する				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（90%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【 積極的参加 】（10%）				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『現代図書館情報学シリーズ 7：四訂 情報サービス演習』（原田智子、樹村房）				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業時に指示する				
補足事項	1. 当授業は演習のため、ただ教室にいただけでは授業を受けているとは認めない。 2. 授業は本学図書館所蔵のレファレンスブックと PC を使用して行う。 3. レファレンスの解説と演習を行い、演習問題の記録をレポートとして作成する。演習では、質問に対する直接的な回答そのものを求めるのではなく、その回答に至るまでの調査過程、使用したレファレンスツールの特徴や内容構成などの理解を重視する。 4. 全体の流れにより多少の変更がある。				

科 目 名	図書館情報資源概論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優	
ナバリングコード	LIS3226			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	図書館情報資源である印刷資料、非印刷資料、デジタル情報資源等について説明します。これらの情報資源について、歴史、特徴、流通、収集整理、コレクション形成方法等、図書館業務に必要なとなる基礎知識を学びます。特に実際の図書館業務に関わる内容はグループワークを通して理解を深めます。									
到 達 目 標	1．印刷資料、非印刷資料、デジタル情報資源等の特徴と管理について理解している 2．図書館情報資源に関する図書館業務について説明できる 3．図書館情報資源の現状、課題、展望について理解している									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、5 ）文化表現学科（ 1、2、3、4 ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション図書館情報資源とは何か	予習	シラバスの内容をよく読んでおく					
				復習	本授業の内容を理解する					
	第 2 回	内容	印刷資料の歴史と特徴	予習	印刷資料にどのようなものがあるか調べる					
				復習	印刷資料の特徴について理解する					
	第 3 回	内容	非印刷資料、デジタル情報資源の類型と特徴	予習	非印刷資料にどのようなものがあるか調べる					
				復習	デジタル資料の特徴について理解する					
	第 4 回	内容	電子書籍・電子ジャーナル	予習	図書館における電子書籍の貸出について調べる					
				復習	電子書籍の利点・問題点について理解する					
	第 5 回	内容	資料の形態による取り扱い	予習	マイクロフィルムの取り扱いについて調べる					
				復習	資料ごとの適した取り扱いについてまとめる					
	第 6 回	内容	資料の内容による特性と取り扱い	予習	地域資料・行政資料の種類を調べる					
				復習	形態による分類と内容による分類を整理する					
	第 7 回	内容	情報資源の出版と流通	予習	書籍の出版・流通の流れについて調べる					
				復習	図書の出版・流通過程をまとめる					
	第 8 回	内容	グループディスカッション（前半のまとめ）	予習	第 7 回までの授業資料を復習しておく					
				復習	議論の内容を踏まえてレポートを書く					
	第 9 回	内容	コレクションの形成（蔵書構成・蔵書構築）	予習	図書館コレクションの意義について調べる					
				復習	コレクション形成の理論について理解する					
	第 10 回	内容	図書館資料の受入	予習	図書館における資料の組織化とは何か調べる					
				復習	図書館における受入業務の内容を理解する					
	第 11 回	内容	図書館におけるコレクションの管理	予習	図書館資料の受入れ・除籍について調べる					
				復習	図書館情報資源の管理について理解する					
	第 12 回	内容	コレクション形成の方法と選書（グループワーク・討議）	予習	埼玉県立図書館の選書方針を読む					
				復習	コレクション形成についてレポートを書く					
	第 13 回	内容	図書館情報資源と知的自由	予習	図書館の知的自由について調べる					
				復習	知的自由を守るコレクション構築を理解する					
	第 14 回	内容	学術情報基盤	予習	機関リポジトリについて調べる					
				復習	自分で学術情報を探せるようになる					
	第 15 回	内容	図書館情報資源の今後の展望（グループワーク）	予習	新たな情報資源について調べる					
				復習	図書館情報資源の今後についてレポートを書く					
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	グループワーク中に口頭でコメントをします。また、希望者にはレポートに対してコメントを返却します。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（60％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【グループワーク】（40％）								
教科書	『図書館情報学基礎資料 第 5 版』（今 まどり、小山 憲司・編著、樹村房）（図書館概論にて購入済み） 加えて、授業資料を配布します									
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ 8 図書館情報資源概論 改訂版』（岸田和明・編著、樹村房） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 8 図書館情報資源概論 新訂版』（馬場俊明、日本図書館協会、2018）									
補足事項	グループワークを行わない回は、授業内で小テストを行います（評価は「レポート・課題」に含めます）。小テストの内容を復習してください。 評価基準（ルーブリック）： https://drive.google.com/file/d/1U22jQmmlkZDkkNB_MUpQfJcQQ-6off6w/view?usp=sharing									

科 目 名	情報資源組織論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	たまき けいこ 玉木 圭子	
ナンバリングコード	LIS3227			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	図書館において収集した資料を利用者に適切に提供するための組織化について、目録、分類法、書誌情報等の、歴史的展開、理論、基礎知識を解説します。目録法、分類法、シソーラスに関しては、グループワークを通して技術的学びを深めます。									
到 達 目 標	1. 情報資源組織化の目的と意義を説明できる 2. 情報資源組織化の歴史的展開と理論を理解している 3. 情報資源組織化の基礎知識・技術を理解している									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、5 ）文化表現学科（ 2、3、4 ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション、情報資源組織化の目的と意義	予習	シラバスの内容をよく読んでおく					
				復習	本授業の内容を理解する					
	第 2 回	内容	書誌コントロールと標準化	予習	書誌コントロールとは何か調べる					
				復習	書誌コントロールの必要性について理解する					
	第 3 回	内容	目録の歴史・役割・種類	予習	目録とは何か調べる					
				復習	目録の歴史と役割について確認する					
	第 4 回	内容	オンライン閲覧目録（OPAC）（グループワーク）	予習	実際に OPAC を利用しておく					
				復習	グループワークの結果をレポートにまとめる					
	第 5 回	内容	日本目録規則の歴史と展開	予習	日本目録規則について調べる					
				復習	日本目録規則の歴史と役割について確認する					
	第 6 回	内容	主題分析と分類法の概要	予習	分類法の種類について調べる					
				復習	分類法の種類と違いについて理解する					
	第 7 回	内容	日本十進分類法（NDC）（グループワーク）	予習	日本十進分類法について調べる					
				復習	日本十進分類法の使用についてレポートを書く					
	第 8 回	内容	書誌情報の作成（MARC）	予習	MARC の歴史について調べる					
				復習	MARC の歴史的展開について理解する					
	第 9 回	内容	書誌情報の流通（書誌ユーティリティ）	予習	NACSIS-CAT と CiNii について調べる					
				復習	日本の書誌ユーティリティについて理解する					
	第 10 回	内容	語による主題組織法（表）の概要	予習	主題分析法について調べる					
				復習	代表的なシソーラスと件名標目表に触れる					
	第 11 回	内容	シソーラスと件名標目（グループワーク）	予習	シソーラスと件名表目表を使ってみる					
				復習	シソーラスと件名表目表についてグループワークの結果をレポートにまとめる					
	第 12 回	内容	ネットワーク情報資源の組織化	予習	ネットワーク情報資源の種類について調べる					
				復習	ネットワーク情報資源の組織化について必要性和問題点を理解する					
	第 13 回	内容	メタデータとダブリン・コア	予習	メタデータとは何か調べる					
				復習	ダブリン・コアについて確認する					
	第 14 回	内容	多様な情報資源の組織化	予習	館種別の情報資源組織化について調べる					
				復習	多様な情報資源の組織化について確認する					
	第 15 回	内容	情報資源組織化の展望（グループワーク・討議）	予習	ウェブアーカイブの組織化について調べる					
				復習	情報資源組織化の展望について理解する					
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（60％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【グループワーク】（40％）								
教科書	指定しません。授業資料を配布します。									
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ9 情報資源組織論 三訂版』（田窪直規編著、樹村房、2020） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 9 情報資源組織論 三訂版』（柴田正美・高畑悦子著、日本図書館協会、2020）									
補足事項	・ グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行うことがあります。小テストの内容を復習してください。 ・ 地域保育学科の実習期間（第 9 回、第 10 回）の授業はオンデマンド方式で行う予定です。									

科 目 名	情報資源組織演習		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵
ナパリングコード	LIS3232		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	「情報資源組織論」で学んだ理論や知識を基にして、多様な情報資源に関する書誌データの作成を行う。 書誌記述、主題分析、統制語彙の適用等の演習を通して、目録作成の実践的な能力を習得する。							
到 達 目 標	1．演習を通して書誌情報の内容と意義を説明できる。 2．『日本目録規則 2018 年版』に基づいて書誌データを作成することができる。 3．『日本十進分類法 新訂 10 版』を使用して分類記号を付与することができる。 4．『基本件名標目表 第 4 版』を使用して件名標目表を付与することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 文 3, 4 に相当 ）文化表現学科（ 3, 4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス 図書館業務と情報資源組織	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	第 1 回の講義内容をまとめる			
	第 2 回	内容	目録法（演習）	予習	「目録法」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 3 回	内容	NCR2018 の構成（演習）	予習	「NCR2018」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 4 回	内容	目録作業の実際：図書 データ例（演習）	予習	「目録作業」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 5 回	内容	目録作業の実際：図書 属性総則（演習）	予習	「属性総則」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 6 回	内容	目録作業の実際：図書 体现形の属性の記録（演習）	予習	「体现形の属性」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 7 回	内容	目録作業の実際：図書 実体の属性の記録（演習）	予習	「実体の属性の記録」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 8 回	内容	目録作業の実際：図書 アクセス・ポイント（演習）	予習	「アクセス・ポイント」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 9 回	内容	目録作業の実際：図書 関連の記録（演習）	予習	「関連」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 10 回	内容	目録作業の実際：図書以外（演習）	予習	「図書以外」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 11 回	内容	図書館管理システムの実際 ①	予習	「NACSIS-CAT MARC」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 12 回	内容	図書館管理システムの実際 ②	予習	「NACSIS-CA T データ内容」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 13 回	内容	図書館管理システムの実際 ③	予習	「NACSIS-CA 登録」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 14 回	内容	主題組織法：主題分析（演習）	予習	「主題組織法」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 15 回	内容	分類作業の実際：NDC（演習）	予習	「NDC10 版」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 16 回	内容	分類作業の実際：NDC 分類規程（演習）	予習	「NDC 分類規程」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 17 回	内容	分類作業の実際：NDC 補助表（演習）	予習	NDC 補助表について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 18 回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（0 類総記、1 類哲学）（演習）	予習	「0 類総記、1 類哲学」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			

	第 19 回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（2 類歴史、3 類社会科学） （演習）	予習	「2 類歴史、3 類社会科学」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 20 回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（4 類自然科学、5 類技術・工学）（演習）	予習	「4 類自然科学、5 類技術・工学」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 21 回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（6 類産業、7 類芸術） （演習）	予習	「6 類産業、7 類芸術」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 22 回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（8 類言語、9 類文学） （演習）	予習	「8 類言語、9 類文学」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 23 回	内容	分類作業の実際：まとめ（演習）①	予習	第 15～22 回までの「分類」に関する演習を確認しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 24 回	内容	分類作業の実際：まとめ（演習）②	予習	第 15～23 回までの「分類」に関する演習を確認しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 25 回	内容	件名作業の実際：BSH 見方（演習）	予習	「BSH」について教科書の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 26 回	内容	件名作業の実際：BSH 手順（演習）	予習	第 25 回の「BSH」に関する演習を確認しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 27 回	内容	件名作業の実際：BSH 作業（演習）	予習	第 25～26 回に関する演習を確認しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 28 回	内容	件名作業のまとめ	予習	第 25～27 回に関する演習を確認しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 29 回	内容	索引（演習）	予習	「索引」について教科書の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 30 回	内容	抄録作業、まとめ（演習）	予習	「抄録作業」について教科書の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	演習課題実施後に解説を行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（100％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【 】（ ）％				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『現代図書館情報学シリーズ 10：三訂 情報資源組織演習』 小西和信・田窪直規、樹村房、				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『日本目録規則 2018 年版』 日本図書館協会目録委員会，日本図書館協会：2019 『日本十進分類法 新訂 10 版(2 巻セット)』 日本図書館協会分類委員会，日本図書館協会：2015 『基本件名標目表 第 4 版』 日本図書館協会件名標目委員会，日本図書館協会：1999				
補足事項	1. 当授業は演習のため、ただ教室にいただけでは授業を受けているとは認めない。 2. 授業は教科書を基に行う。 3. 情報資源組織の解説と演習を行い、演習問題の記録をレポートとして作成する。 4. 全体の流れにより多少の変更がある。				

科 目 名	図書館基礎特論		単 位 数	1	授業時間数	1 6	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵
ナンバリングコード	LIS3233		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	情報社会における図書館、司書の役割や機能について、特に図書館のディスプレイに注目して理解を深める。							
到 達 目 標	1．情報社会における図書館の役割と機能について、さまざまな視点から理解し説明できる 2．図書館の情報発信に関わる課題について説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 文 1, 2, 3 に相当 ）文化表現学科（ 1, 2, 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス ディスプレイの実際 ① 本校図書館の見学	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	ディスプレイを理解する			
	第 2 回	内容	ディスプレイの実際 ② 校外学習	予習	ディスプレイの違いを整理しておく			
				復習	館種によるディスプレイの特性を考える			
	第 3 回	内容	ディスプレイの実際 ③ 企画書の作成	予習	ディスプレイの設置目的を考える			
				復習	図書館の特性を理解する			
	第 4 回	内容	豆本の制作 ①	予習	豆本のテーマを考えておく			
				復習	テーマに合った工夫を考えておく			
	第 5 回	内容	豆本の制作 ②	予習	豆本のテーマを考えておく			
				復習	テーマに合った工夫を考えておく			
	第 6 回	内容	豆本の制作 ③	予習	豆本のテーマを考えておく			
				復習	テーマに合った工夫を考えておく			
	第 7 回	内容	豆本の制作 ④	予習	豆本のテーマを考えておく			
				復習	図書館のサービスを再考する			
	第 8 回	内容	図書館の役割、まとめ	予習	図書館の在り方について理解しておく			
				復習	図書館の在り方を理解する			
	第 9 回	内容		予習				
				復習				
	第 10 回	内容		予習				
				復習				
	第 11 回	内容		予習				
				復習				
	第 12 回	内容		予習				
				復習				
	第 13 回	内容		予習				
				復習				
	第 14 回	内容		予習				
				復習				
	第 15 回	内容		予習				
				復習				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	見学・考察を「企画書」として形に表現する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 50%）、作品・発表（ 50%）、実技（ ）、授業態度【 】（ ）							
教科書	関連資料を授業毎に用意する							
参考文献	適宜提示する							
補足事項	各種図書館の様子を、利用者の視点・図書館側の視点の両面で考えてほしい。 全体の流れにより多少の変更がある。							

科 目 名	図書館サービス特論			単 位 数	1	授業時間数	1 6	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵	
ナンバリングコード	LIS3228			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	図書館の諸問題について取り上げ、幅広く図書館サービスについて知識を深める。 図書館等の視察を行い、各種図書館サービスの特性を学習する。									
到 達 目 標	1. 各種図書館における情報サービスについて説明できる。 2. 各種図書館の評価ができる。 3. 効果的な読書案内の提案を身につけている。									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 文 2, 3, 4 に相当 ）文化表現学科（ 2, 3, 4 ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイドイス 図書館のサービス提供 ①外国の図書館	予習	シラバスを読んでおく					
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する					
	第 2 回	内容	図書館のサービス提供 ②図書館の評価、視察事前学習	予習	対象館を調べる					
				復習	対象館の特性をまとめる					
	第 3 回	内容	校外学習 図書館視察	予習	図書館の設置目的を考える					
				復習	図書館の特性を理解する					
	第 4 回	内容	校外学習 図書館視察	予習	図書館の設置目的を考える					
				復習	図書館の特性を理解する					
	第 5 回	内容	校外学習のまとめ	予習	対象館を調べる					
				復習	対象館の特性をまとめる					
	第 6 回	内容	図書館サービスの現状 ①ポップ	予習	提案型サービスの在り方を考える					
				復習	効果的提案の在り方を考える					
	第 7 回	内容	図書館サービスの現状 ②ポップ	予習	ポップ作成手順を理解しておく					
				復習	ポップをまとめる					
	第 8 回	内容	図書館サービスの現状 ③ポップ	予習	ポップ作成手順を理解しておく					
				復習	ポップをまとめる					
	第 9 回	内容		予習						
				復習						
	第 10 回	内容		予習						
				復習						
	第 11 回	内容		予習						
				復習						
	第 12 回	内容		予習						
				復習						
	第 13 回	内容		予習						
				復習						
	第 14 回	内容		予習						
				復習						
	第 15 回	内容		予習						
				復習						
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	図書館評価の視点を、視察を通して理解を深め、各館の課題を考えさせ、発表させる。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 90%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【 積極参加 】（10%）								
教科書	関連資料を授業時毎に用意する									
参考文献	適宜提示する。									
補足事項	1. 図書館等の視察を行い、報告書を作成する。資格取得を目的とした講座の為、自主的に多くの図書館を視察して、図書館サービスの事例を調査することを望む。図書館視察は受け入れ館と日程調整を要するため、現在日程は未定。調整が取れない場合、また状況によっては授業内容の変更を行う。 2. ポップ作品は、文化祭で授業成果として発表展示を行う。									

科 目 名	図書館情報資源特論		単 位 数	1	授業時間数	1 6	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナソバ°リンク°コート°	LIS3234		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	図書館情報資源をより広く手に取ってもらうための司書の業務として、書評と POP の作成を行います。書評については発表し、相互評価を行います。また、本授業は所沢図書館と連携した地域貢献事業の一環であり、作成した書評と POP は所沢図書館新所沢分館にて展示される予定です。							
到 達 目 標	1. 図書館の資料を手に取ってもらう工夫について、基礎的な知識と技法を身に着けている 2. 資料を読み、多様な価値観について、自分の意見を持つことができる 3. 自身の考えについて、複数の方法で表現することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、5 ）文化表現学科（ 1、2、3、4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	書評とはなにか調べる			
	第 2 回	内容	書評の鑑賞、書評を作成する図書の選択	予習	書評を 1 本読んでおく			
				復習	書評を作成する図書を選ぶ			
	第 3 回	内容	書評の作成（1 冊目）	予習	対象の図書を読んでおく			
				復習	書評を作成し、提出する			
	第 4 回	内容	書評の作成（2 冊目）	予習	対象の図書を読んでおく			
				復習	書評を作成し、提出する			
	第 5 回	内容	書評作品の組版	予習	組版とは何か調べる			
				復習	1 ページ分の仮刷を作成し、提出する			
	第 6 回	内容	POP の作成（1 冊目）	予習	POP のデザインを予習してくる			
				復習	POP を作成し、提出する			
	第 7 回	内容	POP の作成（2 冊目）	予習	1 作目のフィードバックを確認する			
				復習	POP を作成し、提出する			
	第 8 回	内容	書評の発表会	予習	発表の練習をする			
				復習	自身の発表の振り返りを行う			
	第 9 回	内容		予習				
				復習				
	第 10 回	内容		予習				
				復習				
	第 11 回	内容		予習				
				復習				
	第 12 回	内容		予習				
				復習				
	第 13 回	内容		予習				
				復習				
	第 14 回	内容		予習				
				復習				
	第 15 回	内容		予習				
				復習				
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 150 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	作成した書評及び発表へコメントを返却します。POP については相互評価の結果を返却します。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（70%）、作品・発表（30%）、実技（ ）、授業態度【 】（ ）							
教科書	指定しません。授業資料を配布します							
参考文献	『テーマ別のビブリオトーク』（笹倉剛、あいり出版） 『POP 1 年生 イラストで実況中継！：“センス”がなくても POP は書ける！』（山口茂、商業界）							
補足事項	本授業は 8 回(1 単位)の司書資格における選択科目です 評価基準(ルーブリック)：https://drive.google.com/file/d/1U22jQmm1kZDkkNB_MUpQFJcQQ-6off6w/view?usp=sharing							

科 目 名	図書・図書館史			単 位 数	1	授業時間数	1 6	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	LIS3235			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	図書館司書の基礎知識となる図書及び図書館の歴史について講義を行います。まず、石板から現代の電子書籍までの記録メディアの変遷を学びます。その後、欧米とアジアの図書館の歴史を時代ごとに解説し、日本の公共図書館についてはより詳細な解説を行います。また、印刷博物館の見学を予定しています								
到 達 目 標	1． 図書を含む記録メディアの歴史について理解し、説明できる 2． 世界の図書館の歴史について理解し、説明できる 3． 日本の図書館の歴史について理解し、説明できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、5 ）文化表現学科（ 2、3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスの内容を読んでおく				
				復習	授業の進め方を理解する				
	第2回	内容	記録メディアの歴史	予習	古代エジプトの図書館について調べる				
				復習	中世までの図書館の役割を理解する				
	第3回	内容	古代～中世の図書館	予習	古代エジプトの図書館について調べる				
				復習	中世までの図書館の役割を理解する				
	第4回	内容	近世～近代の図書館	予習	会員制図書館について調べる				
				復習	近代の図書館の役割を理解する				
	第5回	内容	日本の図書館	予習	図書館令について調べる				
				復習	民主主義と図書館の関係について理解する				
	第6回	内容	印刷博物館見学	予習	印刷博物館の展示物について調べる				
				復習	見学の記録を作成する				
	第7回	内容	印刷博物館見学②	予習	印刷博物館の展示物について調べる				
				復習	見学の記録を作成する				
	第8回	内容	これからの図書館	予習	コンピュータ導入後の図書館について調べる				
				復習	図書館の課題と展望を理解する				
	第9回	内容		予習					
				復習					
	第10回	内容		予習					
				復習					
	第11回	内容		予習					
				復習					
	第12回	内容		予習					
				復習					
	第13回	内容		予習					
				復習					
	第14回	内容		予習					
				復習					
	第15回	内容		予習					
				復習					
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	博物館見学レポートについては、希望者にコメントを返却します								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（80％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【積極的参加】（20％）								
教科書	『図書館情報学基礎資料 第5版』（今 まど子、小山 憲司・編著、樹村房）（図書館概論にて購入済み） 加えて、授業資料を配布します								
参考文献	『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 図書・図書館史』（小黒浩司・編著、日本図書館協会） 『現代図書館情報学シリーズ 11 図書・図書館史』（佃一可・編著、樹村房）								
補足事項	本授業は8回(1単位)の司書資格における選択科目です。博物館見学以外の授業では小テストを課します。小テストの内容を復習してください。 評価基準(ルーブリック)： https://drive.google.com/file/d/1U22jQmm1kZDkkNB_MUpQFJcQQ-6off6w/view?usp=drive_link								